

伊藤博文

しょう いん いわ
松陰曰く

り すけ また すす なか なか しゅう せん か
「利助亦進む、中々周旋家になりそうな。」



吉田松陰は、伊藤公の資質を「周旋家」つまり、「事を為すために立ち回る人物」と見ました。伊藤公は誰につくべきかを本能的に知っていたといわれます。伊藤公は高杉晋作、井上馨、木戸孝允（桂小五郎）を尊敬し、共に行動しました。

後に初代内閣総理大臣になる伊藤公はそうした人間関係を背景に、着実に出世の階段を歩んでいったのです。

そのような伊藤公を、松陰は出会った時からすでに見抜いていました。

伊藤公の生い立ち

天保12(1841)年9月2日に熊本郡東荷村（現光市東荷）に生まれた伊藤博文公(幼名・利助)は、9歳で萩に移るまでこの地で過ごしました。負けず嫌いで利発な少年利助のエピソードもいろいろと残っています。

伊藤公記念公園内には生家が復元されており、産湯の井戸や伊藤公が登って遊んだと伝えられる柿の木の二世などもあり、幼少時を偲ぶことができます。

維新志士の一人として

萩に移ってからは、松下村塾で高杉晋作や木戸孝允らと共に吉田松陰に学びました。

その後、討幕運動に加わり、高杉晋作らと英国公使館焼き討ちに参加しています。また23歳の時に井上馨ら4人とイギリスへ渡りロンドン大学で学びます。

「長州ファイブ」と呼ばれた彼らは、イギリスで日本の近代化のためのヒントを吸収しました。

留学から半年がたって、長州が外国船砲撃を企てていると知った伊藤公は砲撃を止めさせるため井上馨と共に帰国。砲撃を止めさせることはできませんでしたが、四国連合軍との講和会議通訳として出席しました。

新しい国づくりに力を尽くす

明治維新後は、兵庫県知事、法制局長官、参事院議長など、明治政府の要職を歴任し、明治18年、内閣制度が創設されると、初代内閣総理大臣に就任し、計4回その職を務めました。

その後も枢密院議長として大日本帝国憲法の制定に関わり、近代国家の礎を築きあげる重要な役割を果たしました。また、すぐれた外交手腕を発揮してアジアにおける日本の地位の向上にも力を尽くしました。

そして、明治42年、枢密院議長に任じられ、視察に赴いていたハルビン駅（現中国）で狙撃された伊藤公は、69年の生涯を閉じました。

※年齢については数え年で表記



「長州ファイブ」と呼ばれた若き志士たち
(上段右端が伊藤博文)

伊藤公資料館

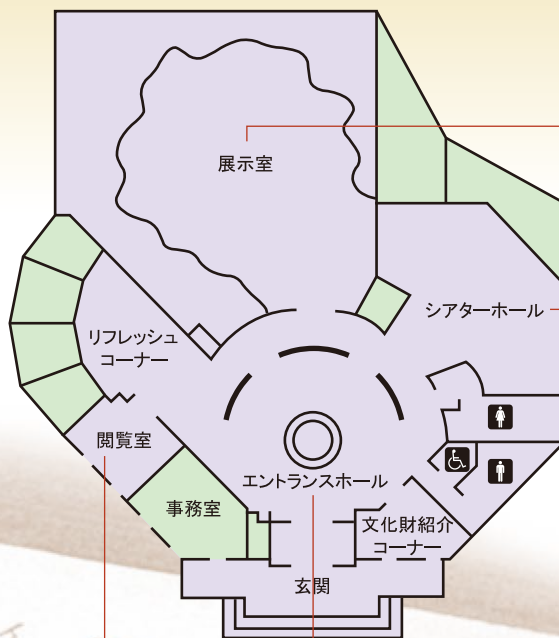
WELCOME TO HIROBUMI ITO MUSEUM

ここは、維新の光が見える場所

●伊藤公資料館の概要

伊藤公資料館は、初代内閣総理大臣 伊藤博文公の遺品等を展示して公の業績を紹介するとともに、幕末から明治末までの日本の動きを学習する場として開設されました。

鉄骨造平屋建534.36㎡の本館の外観は、レンガ造りの明治風建築となっています。また、生家と旧伊藤博文邸の間に位置することから、「利助(博文の幼名)と博文を結ぶタイムトンネル」という要素を持たせています。



●展示室

伊藤公が神奈川県大磯の別荘「滄浪閣」で使用していた家具や、大礼服などの衣類、硯や筆、常に持ち歩いていた念持仏、昭和38(1963)年に発行された肖像入り旧千円札の第一号券等を展示しています。



●シアターホール

86型の大型モニターで、伊藤公の成長過程や業績を紹介する前編・後編映像の合間にクイズを盛り込んだ3部構成映像(30分)を上映しています。再現ドラマやコミック動画、CGを駆使した映像で親しみながら伊藤公の生涯を学べます。



●エントランスホール

伊藤公資料館のエントランスホールで皆さんをお迎えする3枚の写真。左から青年期(25歳・長崎出張時代)、壮年期(47歳・第一次伊藤内閣時代)、晩年(69歳・大磯にて)の写真です。



●閲覧室

伊藤公に関する書籍やアルバム帳、交流の深かった歴史人物の検索システムなどを設置し、さまざまな角度から伊藤公の生涯や業績について学べます。



■入館のご案内

【開館時間】
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】
月曜日（但し祝日の場合は翌日）・12月29日～1月3日

【入館料】

大	人	260円(200円)
---	---	------------

()内は20名以上の団体料金です。

※高校生以下の方は無料です。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は無料です。